

野村 弘 全国町村議会議長会会長 挨拶

はじめに、本日まで出席の町村長の皆様には、平素、町村行政の中核にあって、住民福祉の向上と地域の発展のため日夜、献身的なご努力と情熱を傾けておられますことに、心から敬意と感謝を申し上げる次第でございます。また、日頃から私どもに対し格別のご理解とご協力を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

ご案内のように、鳩山新政権が誕生し、我が国の政治が大きく変わろうとしております。新政権の中核となる民主党は、地方に対し、マニフェストの中で、「地域主権の推進」を高らかに掲げておりますが、その内容は未だ定かではありません。町村に対しどのような目配りをしていただけるのかは、今後の予算等で明らかになるものと思っております。

町村は「平成の大合併」という国の方針に協力、苦渋の選択の中で合併をしてみましたが、合併を選択した後に夢を語れるような声は、一向に聞こえてまいりません。過疎化・少子高齢化の波が進行した今日、町村では人口が激減し、耕作放棄地は増え、集落の存立が危ぶまれる事態となっているところも少なくありません。しかしながら、町村は、豊かな自然や歴史・文化を有する我が国のふるさとであります。町村が頑張っているが故に、都会に対し新鮮な空気、日々の食料・水・エネルギーを供給し、自然災害から国土を守り、国民一人ひとりに心の温もりを提供するなど、我が国社会全体の中で重要な役割を果たしています。

町村は、人口が少なく、住民一人当たりの行政コストはかさみますが、都会に比べ楽な暮らしをしているわけではありません。町村が、それぞれの個性を活かし、元気が出せるような施策を、心から願う次第であります。

平成22年度の新たな概算要求では、総務省は、地方交付税について、法定率の改定、1.1兆円の積み増しを要求しております。一方、行政刷新会議における事業仕分けでは、その抜本の見直しを行うと評決されたところであります。地方の再生なくして国の再生はありません。是非とも、地方財政に対する正しい認識のもとに、地方財源の充実強化が図られるよう期待しております。

私ども全国町村議会議長会も、皆様方との結びつきをより強固にし、心を一つにしてこの難局を乗り越えて参りたいと考えております。これからも一致団結してやっつけていきましょう。

平成二十一年十一月十八日

全国町村議会議長会会長 野村 弘